

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：株式会社マスネットワーク	所在地：長野県松本市巾上 13-6
評価実施期間：平成 28 年 9 月 1 日から平成 28 年 11 月 24 日	
評価調査者 060802 060842 060672 050231	

2 福祉サービス事業者情報（平成 28 年 10 月現在）

事業所名： 長野市青池保育園 (施設名)	種別：保育所
代表者氏名： 理事長 寺田 裕明 (管理者氏名) 園長 田中 道恵	定員(利用人数): 20名(21名)
設置主体：長野市 経営主体：社会福祉法人長野市社会事業協会	開設(指定)年月日： 昭和 45 年 4 月 1 日
所在地：〒388-8016 長野県長野市有旅 3692 番地	
電話番号：026-293-2635	FAX 番号：026-293-2635
ホームページアドレス：nsjk-jimukyoku@nagano-shjikyo.or.jp	
職員数	常勤職員：5名 非常勤職員 6名
専門職員	園長 1名 保育士 3名 保育士 3名
	調理師 1名 調理師 3名
施設・設備 の概要	事務室 1 厨房 1 保育室 2 (設備等)
	乳児室 1 遊戯室 1 園庭

3 理念・基本方針

<p>保育理念</p> <ul style="list-style-type: none">・ 子どもの健やかな心身の発達を図り、人として生きる力の基礎を培う。・ 児童福祉法に基づき保育に欠ける子どもを保育する事を目的とする。・ 子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する。 <p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none">・ 家庭や地域との連携を図り、養護・教育が一体となった健やかな人間性をもった子どもを育成する。・ 恵まれた環境を活かした保育に取り組み、色々な経験の中から自己を十分に発揮し活動できるようにする。・ 地域の子育て支援の拠点として社会的役割を果たす。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

- ・ 地域活動事業(世代間交流・異年齢時交流等)で園開放を積極的に行っている。
- ・ 様々な保育ニーズに応じている。(時間外保育・一時保育)
- ・ 年齢別交流保育・障害児施設との交流保育を行っている。
- ・ 公開保育・訪問保育等で情報交換をし、保育内容の質を高めている。
- ・ 地域性を出した行事を実施している。(なつまつり・雪上運動会等)
- ・ 食育活動を積極的に行っている。
- ・ 保育の質の向上の為に園内外の研修に取り組んで参加している。

5 第三者評価の受審状況

受審回数(前回の受審時期)	今回初受審
---------------	-------

6 評価結果総評(利用者調査結果を含む。)

特に良いと思う点

<のびのびした子ども達への保育環境>

子ども達と一緒に保育士が地域支援を受けながら畑でたくさんの野菜を作り、収穫した野菜が食卓に彩る。食育の日には、調理員が野菜や果物の説明をし、健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標に五領域と相互に作用させながら食育を推進する環境が整っている。また、四季を通し恵まれた自然の中で土や虫たちと触れ合い、園庭でのソリ遊び、春先は草滑り等、のびのびとした元気な子ども達に保護者の利用満足度が高い。

<地域と共にある保育所>

自治体、民生児童委員等が係わり開催される「いきいきふれあいトーク」「子育てサロン」等に職員は積極的に参加して、地域の問題解決に向け助言・発言等行うと共に地域の福祉ニーズの把握に努めている。園開放にはもとより、各種行事に合わせて世代間交流の実施等にも民生児童委員、自治協議会、地域の駐在所、近くの小学校からの出席もあり、地域住民との交流する機会を作り、子どもが地域で育つ環境作りを住民と連携して行っている。

特に改善する必要があると思う点

<保育理念・保育方針を職員、保護者とも十分共有した保育の提供>

保育所の理念、保育目標に示されている内容「保護者と共に子育てをしていく、子どもにとって最善の利益を追及していく、地域における子育ての支援の拠点として社会的役割を進める」の理解や共有を職員は更に深め、保護者が保育所の保育内容を十分に理解する取り組み、保育指針及び保育過程に沿った保育・教育の提供に期待したい。

<安心・安全な福祉サービスの提供とリスクマネジメントへの取り組み>

危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な保育の確保に努めており、不審者への対策も施設内訓練を行う等工夫されている。今後、災害時の保護者との連携やあらゆる災害の対応マニュアルの見直し、自然な環境での外的侵入等へのリスク、園庭のリスクの見直しなど保護者と共に考え話し合う機会や伝える事も検討して行く必要性を感じる。更に、全体のマニュアルを含め定期的な見直しを行い、保育や危機管理面を含めた職員間での更なる取り組みに期待したい。

- 7 事業評価の結果（詳細）と講評
共通項目 （別添 1）
内容評価項目 （別添 2）

- 8 利用者調査の結果
アンケート方式の場合（別添 3 - 1）

- 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）

平成 28 年 12 月 28 日記載

今回第 3 者評価を受審させて頂きありがとうございました。自分達が日頃行なっている保育を見直す良い機会であったと思います。「気づき」を大事にしながら保育を行なう事の大切さを改めて感じました。

「のびのびとした保育環境」「地域と共にある保育所」であることを良い点として認めて頂けた事は保育園として、また、保育者として、これから保育を行なっていく上での励みと自信になりました。職員一丸となって今まで以上に頑張っていきたいと思っています。

また、改善すべき点として指摘を受けた「保育理念・保育方針を職員保護者共十分共有した保育の提供」「安心・安全な福祉サービスの提供とリスクマネジメントへの取り組み」については真摯に受けとめ改善を図り、より質の高い保育をめざしていきたいと思っています。育児に不安や悩みを抱えている保護者に適切な支援ができるよう研鑽をつんでいく必要性を感じています。